

ヨシナカ新聞

大阪工場を彩る花々

5月になると世の中がカラーになったように色々な花が咲きます。弊社の大阪工場も色々な花々が咲き、仕事で疲れた心を癒してくれているようです。

楽しむことが出来ませんが、綺麗でエキゾチックな花も人気があるそうです。

バルカン半島・クリミア半島原産のライラックは香りがよく、香水の原料にも使われているようです。また、通常は先に4つに割れた花びらが、稀に5つに割れていることがあり、それは「ハッピーライラック」と呼ばれ、見つけた人は見つけたことを誰にも言わずにその花を飲み込むと愛する人と永遠に幸せに過ごせるという言い伝えがあるそうです。赤いライラックの花言葉は「愛の芽生え」

大阪工場から届いた左の2枚の写真、それぞれの花の名前、私は全くわからず、すぐわかる方には花に詳しい方なのかなと尊敬の念を抱きながら、上は『フェイジョア』、下は『ライラック』だそうです。

フェイジョアは中南米が原産の果樹。10月から12月中旬にかけて果実を



ブルースト効果

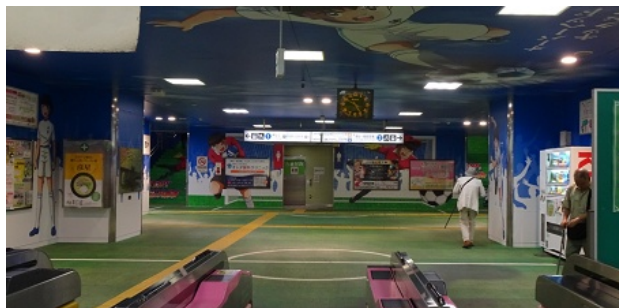
先月号で聴覚と視覚に特定の刺激を与えることによってリラックス効果が出る『ASMR』を掲載させていただきましたが、今回は香りを嗅ぐ事により、その時の記憶や感情が蘇る『ブルースト効果』を紹介いたします。

フランスの作家のマルセル・ブルースト執筆の『失われた時を求めて』の中で語り手が口にしたマドレーヌの味をきっかけに幼少期の家族の思い出が蘇る事から香りによって記憶等が蘇る事を『ブルースト効果』と呼ばれるようになりました。食欲

などの本能的な行動や喜怒哀楽などの感情を司る大脳辺縁系が嗅覚と直接結びついており、これは五感の中で嗅覚だけが持つ特徴です。香りは鼻→嗅上皮→嗅細胞（嗅毛）→嗅球→大脳辺縁系の順で脳に到達するそうです。

駅が変貌

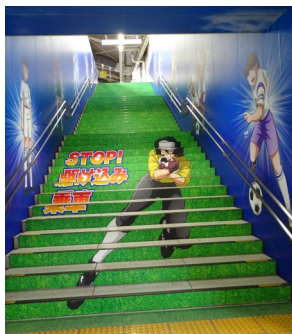
先日、数カ月ぶりに東京都葛飾区にある四ツ木駅で下車したのですが、駅全体が『キャプテン翼』に変貌していて驚きました。なのでレポートします。駅の入り口からキャプテン翼モード全開です。



改札から駅構内に入るとそこはサッカーコートが広がっています。そして、翼選手とヴィッセル神戸のイニエスタ選手が二人並んで立っています。



青砥方面のホームに上がる階段です。



ホームでも電車接近アウンスが翼選手の声になっており、キャプテン翼を満喫できます。舞台の一つが、作者の高橋陽一さんの母校、都立南葛飾高にちなんで「南葛市」に設定されていることから、キャプテン翼を生かした地域の盛り上げを進めていることで、この企画が実施されたそうです。

ステンレスの耐熱性

●オーステナイト系：一般に550℃を超える温度帯域で優れた機械的性質を示しますが、約600℃～980℃以上の長時間加熱すると、常温や低温でのじん性が低下すると言われています。 SUS 304にSiを添加して耐酸化性を高めたSUS302Bや、CrとNiの添加量を増やすこ

とでSUS309SやSUS310Sがあります。

●フェライト系：500℃を超えると急に強度が落ちてきます。また高温環境下では脆化現象を起こすこともあり、こうした環境下での構造材料としてはあまり使われない傾向にあります。特に870℃を超えるような環境では非常にもろくなります。

●マルテンサイト系：500℃付近まではかなり強い引張強さを示しますが、これを超えると強度が急に低下してきます。添加元素に、モリブデンやバナジウム、タングステン、ニオブなどを入れて高温強度を改善したタイプがあります。（ステンレス鋼の専門サイト『susjis.info』より）